



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 トランス・コスモス株式会社

コード番号 9715 URL <http://www.trans-cosmos.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼COO

(氏名) 奥田 昌孝

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員CFO

(氏名) 本田 仁志

TEL 03-4363-1111

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	79,030	6.3	4,143	70.8	4,070	64.1	2,363	△6.4
23年3月期第2四半期	74,350	△1.1	2,425	38.6	2,481	52.2	2,526	508.4

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 2,835百万円 (52.4%) 23年3月期第2四半期 1,860百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	57.45	—
23年3月期第2四半期	61.39	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	91,878	45,858	45.9	1,023.94
23年3月期	90,134	44,410	45.5	997.46

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 42,129百万円 23年3月期 41,040百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	33.00	33.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成24年3月期の配当予想は未定であります。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当期の連結業績予想につきましては、東日本大震災に伴う電力供給不足に加え、急激な円高進行などにより、今後の企業活動の動向に与える影響が不透明な状況となっており、現段階では合理的に算定することが困難であるため、未定としております。今後、予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
- ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
- ③ 会計上の見積りの変更 ： 無
- ④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年3月期2Q	48,794,046 株	23年3月期	48,794,046 株
24年3月期2Q	7,649,500 株	23年3月期	7,648,617 株
24年3月期2Q	41,145,107 株	23年3月期2Q	41,146,439 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災によって分断されたサプライチェーンの早期復旧もあって生産が持ち直し、家計・企業などのマインドも改善するなど、一部で復興に向けた回復の兆しが見られるものの、欧米諸国の財政問題、世界経済を牽引してきた新興国における経済成長の減速懸念、歴史的な円高水準、株式市場の低迷に伴う企業収益への影響といった様々な景気下振れリスクが散在していることから、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く事業環境は、情報サービス市場では、依然としてIT投資への慎重姿勢が続いているものの、リスク管理、BCP（事業継続計画）などの観点から、企業のIT投資マインドは改善に向かいつつあります。デジタルマーケティング市場では、震災による広告自粛の影響は一部あるものの、2008年のリーマンショックで大きく落ち込んだ業界の回復や、スマートフォン、タブレット端末などの新デバイス、ソーシャルメディアなどを中心とした新たなマーケティング活動を模索する企業が増加しており、引き続き市場は拡大傾向にあります。

このような状況の下、当社グループは、新たな成長の土台を固めることを本年度スローガンに掲げ、企業ニーズを捉えたサービス販売の強化、再加速するグローバル化を見据えた海外展開の更なる強化などを重点的に取り組みました。

国内では、企業の業務効率化を支援するビジネスプロセスアウトソーシングサービスや、需要の高いデジタルマーケティングサービスなどを中心に総じて受注は堅調に推移しました。また海外では、アジア市場を中心とした強固なサービス体制基盤と日本品質を担保したサービス力を武器に、日系企業だけでなく、アジア現地企業、欧米企業などにもサービス提供を積極展開しました。

以上の取り組みの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高79,030百万円となり前年同期比6.3%の増収となりました。利益につきましては、売上高の増加および売上総利益率の改善などにより、営業利益は4,143百万円となり前年同期比70.8%の増益、経常利益は4,070百万円となり前年同期比64.1%の増益となりました。また、前年同期に計上していた投資有価証券売却益等の減少や税金費用の増加などにより、四半期純利益は2,363百万円となり前年同期比6.4%の減益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(単体サービス)

当社におけるアウトソーシングサービス事業等につきましては、ITサービスの需要拡大やコスト適正化による収益性の改善の影響もあり、売上高は63,029百万円と前年同期比4.6%の増収となり、セグメント利益は3,018百万円と前年同期比61.9%の増益となりました。

(B to B国内子会社)

B to B国内子会社につきましては、前期に実施したグループ再編の影響により、売上高は10,533百万円と前年同期比5.0%の減収となりましたが、ビジネスプロセスアウトソーシングサービス子会社の利益改善などにより、セグメント利益は330百万円と前年同期比28.6%の増益となりました。

(B to B海外子会社)

B to B海外子会社につきましては、中国におけるコールセンターサービスの受注が比較的好調に推移し、売上高は7,496百万円と前年同期比10.7%の増収となりました。また、オフショア開発の利益改善などにより、セグメント利益については、154百万円（前年同期はセグメント損失69百万円）となりました。

(B to C子会社)

B to C子会社につきましては、国内のコンシューマ向けソフトウェア販売が好調に推移し、売上高は3,074百万円と前年同期比109.8%の増収となり、セグメント利益は549百万円と前年同期比132.3%の増益となりました。

なお、セグメント利益につきましては、四半期連結損益計算書における営業利益をベースにしております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて1,744百万円増加し、91,878百万円となりました。このうち流動資産につきましては、3,442百万円増加し、64,545百万円となりました。これは売掛金の増加や、財務体質の改善などにより現金及び預金が増加したことによるものであります。固定資産につきましては、1,698百万円減少し、27,333百万円となりました。これは当社における欠損金に係る繰延税金資産が減少したことによるものであります。

また、負債の部につきましては、前連結会計年度末に比べて296百万円増加し、46,020百万円となりました。これは有利子負債が減少したものの、未払金および買掛金などの増加によるものであります。

純資産の部につきましては、前連結会計年度末に比べて1,448百万円増加し、45,858百万円となり、自己資本比率は、45.9%となりました。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期と比べ2,061百万円収入が減少し、4,222百万円の収入となりました。この主な要因は、税金等調整前四半期純利益が改善したものの、売上債権が増加したことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期と比べ1,673百万円支出が増加し、914百万円の支出となりました。この主な要因は、投資有価証券の売却による収入が減少したことによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期と比べ3,238百万円支出が増加し、1,891百万円の支出となりました。この主な要因は、長期借入金の返済による支出や、配当金の支払額などが増加したことによるものであります。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第2四半期連結累計期間末残高は、前連結会計年度末に比べて1,492百万円増加し、32,708百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、東日本大震災に伴う電力供給不足に加え、急激な円高進行などにより、今後の企業活動の動向に与える影響の見極めが困難な状況となっております。この先行き不透明な状況により、現時点では、当社の連結業績に与える影響を合理的に算定できないため、当期の連結業績見通しについては、未定としております。今後、予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,797	33,193
受取手形及び売掛金	23,406	25,027
有価証券	27	—
商品及び製品	41	49
仕掛品	552	478
貯蔵品	52	37
繰延税金資産	3,769	4,059
その他	1,894	2,129
貸倒引当金	△438	△429
流動資産合計	61,102	64,545
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,685	3,646
工具、器具及び備品（純額）	2,495	2,484
土地	1,145	1,150
その他（純額）	335	347
有形固定資産合計	7,661	7,628
無形固定資産		
のれん	297	177
ソフトウェア	1,266	1,209
その他	326	306
無形固定資産合計	1,891	1,693
投資その他の資産		
投資有価証券	3,919	3,735
関係会社株式	3,358	3,531
その他の関係会社有価証券	75	71
関係会社出資金	368	369
繰延税金資産	2,707	1,547
差入保証金	4,584	4,575
その他	4,784	4,496
貸倒引当金	△318	△316
投資その他の資産合計	19,479	18,011
固定資産合計	29,031	27,333
資産合計	90,134	91,878

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,118	4,374
短期借入金	846	677
1年内償還予定の社債	1,070	1,070
1年内返済予定の長期借入金	12,152	8,536
未払金	2,435	2,911
未払費用	5,077	5,142
未払法人税等	592	629
未払消費税等	1,337	1,262
賞与引当金	3,107	3,067
その他	1,367	1,558
流動負債合計	32,105	29,228
固定負債		
社債	1,660	1,125
長期借入金	8,525	12,396
退職給付引当金	127	137
訴訟損失引当金	2,555	2,555
その他	749	576
固定負債合計	13,618	16,791
負債合計	45,723	46,020
純資産の部		
株主資本		
資本金	29,065	29,065
資本剰余金	20,510	20,510
利益剰余金	10,289	11,295
自己株式	△15,922	△15,923
株主資本合計	43,943	44,948
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△149	△288
為替換算調整勘定	△2,752	△2,530
その他の包括利益累計額合計	△2,902	△2,818
少数株主持分	3,369	3,729
純資産合計	44,410	45,858
負債純資産合計	90,134	91,878

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位: 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	74,350	79,030
売上原価	61,269	64,630
売上総利益	13,081	14,400
販売費及び一般管理費	10,656	10,256
営業利益	2,425	4,143
営業外収益		
受取利息	33	26
受取配当金	2	16
持分法による投資利益	74	148
デリバティブ評価益	12	100
助成金収入	246	129
その他	119	92
営業外収益合計	489	513
営業外費用		
支払利息	292	219
為替差損	60	272
その他	80	94
営業外費用合計	433	586
経常利益	2,481	4,070
特別利益		
投資有価証券売却益	1,339	35
企業立地助成金等	54	35
その他	253	58
特別利益合計	1,647	129
特別損失		
減損損失	331	54
投資有価証券評価損	25	65
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	53	—
その他	305	45
特別損失合計	715	165
税金等調整前四半期純利益	3,412	4,034
法人税、住民税及び事業税	240	448
法人税等調整額	454	878
法人税等合計	694	1,326
少数株主損益調整前四半期純利益	2,717	2,707
少数株主利益	191	343
四半期純利益	2,526	2,363

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,717	2,707
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△355	△142
為替換算調整勘定	△379	198
持分法適用会社に対する持分相当額	△121	72
その他の包括利益合計	△856	128
四半期包括利益	1,860	2,835
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,746	2,447
少数株主に係る四半期包括利益	114	388

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,412	4,034
減価償却費	1,003	738
減損損失	331	54
のれん償却額	260	123
無形固定資産償却費	537	258
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△90	△18
賞与引当金の増減額(△は減少)	143	△41
退職給付引当金の増減額(△は減少)	166	291
受取利息及び受取配当金	△36	△43
支払利息	292	219
為替差損益(△は益)	60	272
持分法による投資損益(△は益)	△74	△148
固定資産除却損	6	8
投資有価証券売却損益(△は益)	△1,338	△35
関係会社株式売却損益(△は益)	△88	—
関係会社株式評価損	93	—
持分変動損益(△は益)	△18	—
売上債権の増減額(△は増加)	2,835	△1,826
たな卸資産の増減額(△は増加)	47	81
仕入債務の増減額(△は減少)	△560	254
その他	△105	630
小計	6,877	4,855
利息及び配当金の受取額	72	79
利息の支払額	△288	△219
訴訟和解金の支払額	△80	△110
法人税等の支払額	△297	△382
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,284	4,222
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△142	△159
定期預金の払戻による収入	175	265
有形固定資産の取得による支出	△440	△724
無形固定資産の取得による支出	△352	△253
投資有価証券の取得による支出	△9	△94
投資有価証券の売却による収入	1,561	39
関係会社株式の取得による支出	△125	△15
関係会社株式の売却による収入	89	—
関係会社の整理による収入	70	15
少数株主からの株式の購入による支出	—	△21
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	1	—

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
差入保証金の差入による支出	△392	△120
差入保証金の回収による収入	347	190
その他の支出	△166	△83
その他の収入	143	46
投資活動によるキャッシュ・フロー	759	△914
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,150	1,040
短期借入金の返済による支出	△1,266	△1,208
長期借入れによる収入	3,020	10,000
長期借入金の返済による支出	△522	△9,747
社債の償還による支出	△535	△535
自己株式の売却による収入	0	0
自己株式の取得による支出	△1	△0
配当金の支払額	△411	△1,357
少数株主への配当金の支払額	△1	△11
その他	△85	△70
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,346	△1,891
現金及び現金同等物に係る換算差額	△140	75
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	8,250	1,492
現金及び現金同等物の期首残高	27,622	31,215
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△69	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	35,803	32,708

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	単体 サービス	B t o B 国内子会社	B t o B 海外子会社	B t o C 子会社	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	60,146	6,178	6,562	1,463	74,350	—	74,350
セグメント間の内部 売上高または振替高	108	4,913	209	1	5,232	△5,232	—
計	60,254	11,091	6,771	1,465	79,583	△5,232	74,350
セグメント利益 または損失(△)	1,864	256	△69	236	2,288	136	2,425

(注) 1 セグメント利益または損失(△)の調整額136百万円は、セグメント間取引消去113百万円、のれんの償却額23百万円であります。

2 セグメント利益または損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	単体 サービス	B t o B 国内子会社	B t o B 海外子会社	B t o C 子会社	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	62,924	5,792	7,239	3,073	79,030	—	79,030
セグメント間の内部 売上高または振替高	104	4,740	256	1	5,103	△5,103	—
計	63,029	10,533	7,496	3,074	84,133	△5,103	79,030
セグメント利益	3,018	330	154	549	4,052	91	4,143

(注) 1 セグメント利益の調整額91百万円は、セグメント間取引消去35百万円、のれんの償却額55百万円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

該当事項はありません。